



歓迎のあいさつ:(糸満市 市長:上原裕常)

第23回南部地域土壌保全の日関連行事「土壌保全シンポジウム」が、ここ糸満市で開催されることに深く感謝し、またご参加者の皆様を心より歓迎いたします。本市は一次から三次まで多様な産業構造をもち、農水に一次産業は県内有数の生産高を誇ります。農業につきましては、基幹作物のサトウキビをはじめ、園芸作物、野菜のニンジン・レタス、花きの小菊など県内一の生産高を誇る作物が多く、耕種農業が盛んであります。

本日のシンポジウムは、農家の農業活動の現場からの耕土流出、土壌保全の必要性について、各農家の意識の高揚と啓発を目的としており、環境保全型の農業を推進している本市において誠に時機を得たものと考えております。また耕土流出は、観光立県を目指す県経済にとっても、本市においても、多大なダメージをもたらすのでは、環境保全への取り組みは重要課題であることは間違いありません。各専門分野からの意義ある意見等を拝聴し、ご参集の皆様が実践することにより、陸の緑と海の青さを永久に守ることができます。本日のシンポジウムが実のある大会となり、今後の皆様方の農業活動に反映されることを期待します。

また11月17日から18日には、両陛下の臨席のもと、第32回全国豊かな海づくり大会が糸満市で開催されます。ご参集の皆様方には参加頂き、大会を盛り上げて頂きますことをお願い致します。

結びに、本大会の主催者である南部地域農林水産業推進会議のご発展と、ご参集の皆様のご活躍を祈念申し上げ、あいさつとします。